

越来小学校校舎改築事業基本計画【概要版】

1. はじめに

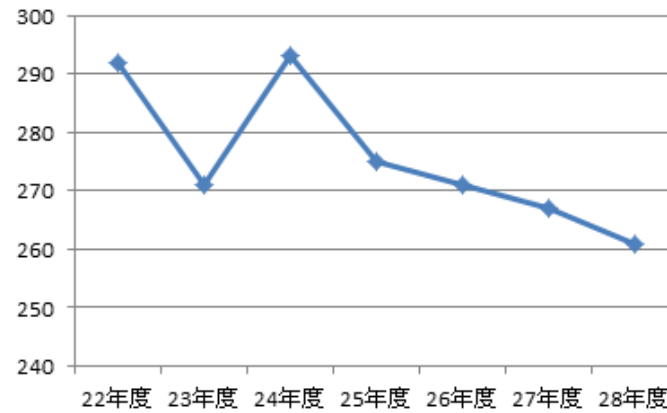
越来小学校は、明治15年創立という長い歴史を持ち、琉球王朝の第一尚氏王統六代の尚泰久が越来王子として政治を行った由緒ある地域にあります。現在、アメリカエアハート小学校との交流や文化財探検、学芸会での郷土劇等を行い、地域人材・教材の活用、地域連携に盛んに取り組んでいます。本業務では、これらの取り組みや小中連携等により、歴史・文化の継承、安心・安全な学校づくり、景観・環境学習の発展をテーマの中心に据えた、特色ある学校づくりの基本計画を進めます。



2. 条件整理

①小学校児童数の推移

越来小学校の過去7年間の児童数の推移をみると、平成22年の児童数が292名となっています。平成23年は271名と、21名減少となっていますが、平成24年には293名となり過去7年間で最大となっています。その後、平成25年以降は年々減少傾向となっており、平成28年の児童数は261名となっています。



②用途地域

- 用途地域: 第一種住居地域
- その他の地域・地区: 越来文教地区
- 用途地域による主な法規制
 - ・建ぺい率: 60% (70% ※角地適用)
 - ・容積率: 200%



3. 関係者ヒアリング

①小学校職員

校舎や屋内運動場、門、駐車場、周辺道路等に関してヒアリングを行いました。主なご意見として、「校舎は生徒が安全安心に遊ぶことができる中庭型の配置が望ましい。」「教室は可動式の壁を設置して欲しい。」「トイレは多様な生徒に配慮(LGBT等)を検討して欲しい。」「屋内運動場(体育館)へは一度屋外に出てから体育館へ移動しているため、悪天候の場合、授業を中止せざるを得ない場合がある。渡り廊下を設置して欲しい。」といったご意見がありました。

②学校運営協議会

越来小学校・中学校、地域の方たちで構成される協議会へヒアリングを行いました。主なご意見として、「越来中の校舎改築も視野に入れた計画を進めてほしい。」「隣接した敷地を活かした配置計画をしっかりと進めていくことが望ましい。」「小・中連携について、以前検討した「一貫校・連携」について、最終的な報告がほしい。」「地域の人の意見も重視して頂きたい。」といったご意見がありました。

③市関係各課

関連する庁内の関係部署(教育委員会、建設部、こどものまち推進部など)にヒアリングを実施しました。主なご意見として、「幼稚園の遊びは園庭活動が多くあり、子ども達が大きな声を出したり音楽を流したリズム遊び等がある為、園庭と小学校校舎が近いと小学校の授業に支障をきたす事が予想されるので、互いに干渉しない程度の距離があったほうが良い。」「地域連携室の利用者は、主に校区内の住民を対象としているが、夜間に利用するため車で来る方が大半を占める。駐車スペースがあればなお利用しやすい。」「災害時に避難場所となった場合、物資供給車両の搬送ができる出入口や駐車スペースの確保も必要。」「越来小学校まわりの道路が狭いため、学校施設内に送迎用の乗降するスペースがあると通学時の事故防止につながると考える。」といったご意見がありました。

4. 基本方針の策定

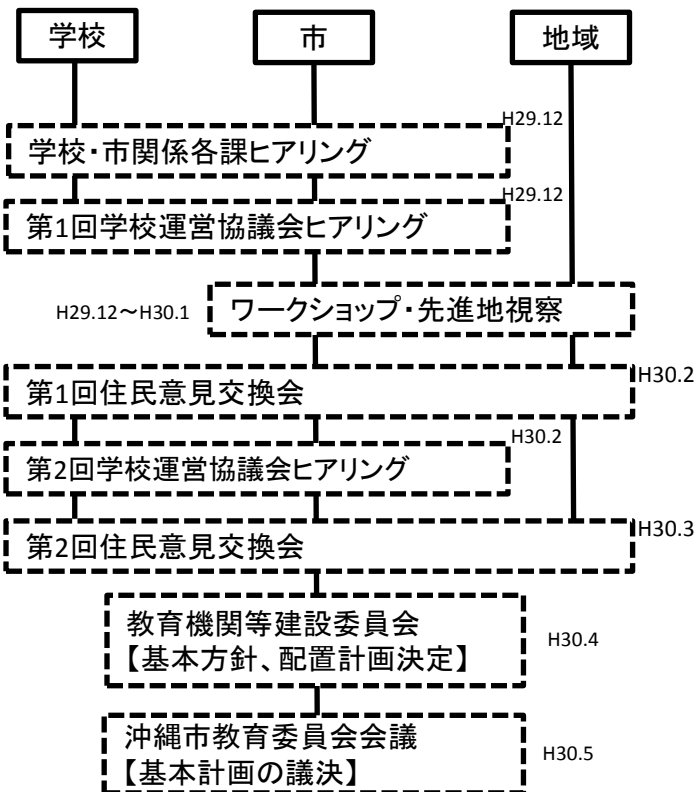
①ワークショップ

越来小学校基本方針策定のためのワークショップを開催しました。児童や保護者、学校関係者などから、現存の校舎や学校敷地内外における長短所、改善点、問題点等や新しい校舎建築に対する要望や意見を聴衆する場となりました。

- 日時: 平成29年12月23日(土) 8:45～
- 場所: 越来小学校 家庭科室
- 参加者: 24名



①基本計画策定までの流れ



②ワークショップでの意見・要望のまとめ
 ワークショップでは、「体育館と校舎をつなぐ渡り廊下をつくらしてほしい」、「オープン教室にしてほしい」、「トイレは全て洋式にほしい」、「幼稚園の前にある木はカッコイイから残してほしい」、「アトウ山は残してほしい」といったご意見等がありました。

③新しい学校づくりのコンセプト
 ワークショップ参加者による各チームごとに、「新しい学校づくりのコンセプト」を考えていただき、それらを取りまとめ意見交換会等を経て、教育機関等建設委員会(沖縄市教育委員会)において、基本方針として決定しました。

- ◎チーム:児童代表
『子供たちが楽しく安全に過ごせる学校(校舎)』
- ◎チーム:ギークジャパン
『歴史、文化を誇れる学校』
- ◎チーム:花と緑とほほえみチーム
『光と緑と「歴史」「文化」香る学校』
- ◎チーム:白樺会
『先人の思いを胸に学ぶ』『誇り高き先人に学ぶ』『ギークあやみや(越來綾庭)に学ぶ』『歴史ある学校で学べる誇り』
- ◎チーム:若おじ~の会
『ギークグスクとアトウ山の歴史、文化を風化しない学校づくり』

- 先人の思いを胸に、越來(ギーク)の「歴史・文化」を誇れる学校
- 光と緑にあふれ、楽しく安全に学べる学校

5. 沖縄市内新校舎視察
 ワークショップ開催時に、沖縄市の新校舎を見学したいとの意見から、希望者を募り、「沖縄市立島袋小学校」、「沖縄市立中の町小学校」両校の視察見学会を開催しました。



主なご意見として、「従来のオープン教室を予想しており学習に集中できるか気がかりだったが、広いフロアと用途に応じて開閉できる教室は大変良い」、「各教室の可動式ドアは良いが、普段は閉めているほうが良い」、「家庭科教室は児童が使うとき、地域連携活用と効率的に共有し、出入口が別々にあることで児童の学習にも(地域交流)期待できる」、「図書室が児童が利用しやすい児童玄関の近くに配置されていることが良い」といったご意見がありました。

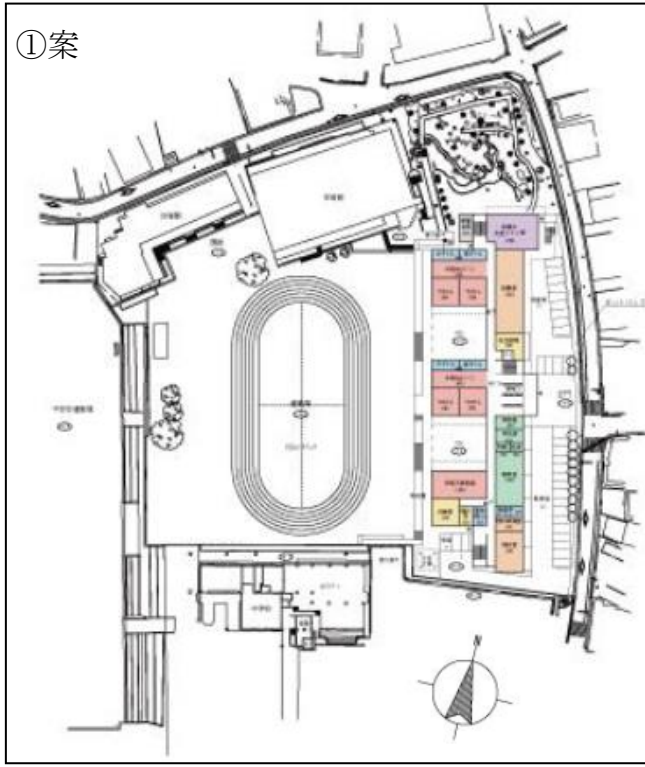
6. 住民意見交換会
 基本計画を進めるにあたり、地域のご意見を計画に反映させるため、意見交換会を開催しました。当日は配置計画を4案説明し、ご意見等をいただきました。

①第1回(平成30年2月15日 参加20名)
 主なご意見として、「小・中一貫の話では、コザ小から越來中に来る児童のことも考えているか」、「地域連携室は年配の方に配慮して1階がよい」、「子供が将来増になったとき、教室は足りるか検討する必要がある」といったご意見がありました。

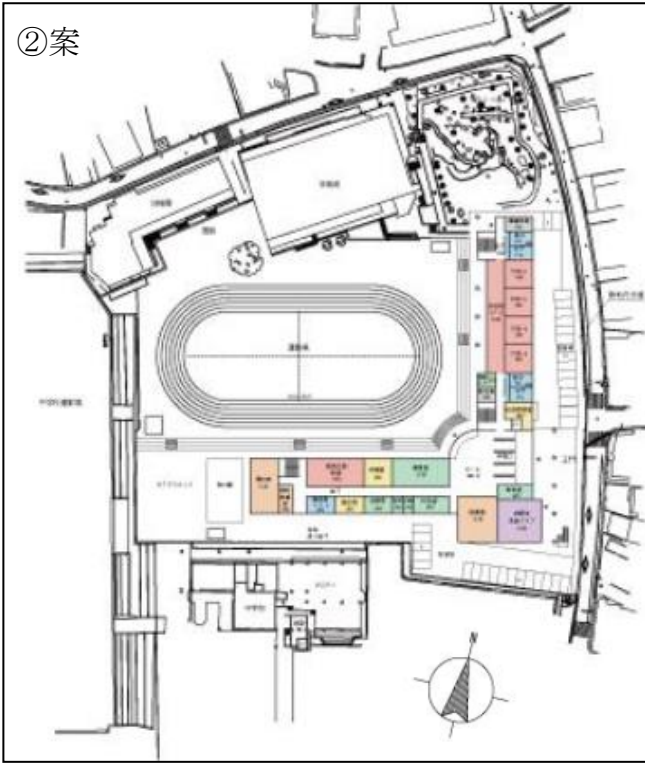


②第2回(平成30年3月15日 参加25名)
 第2回の意見交換会では、配置計画4案から文化財に影響がない2案に絞り説明しました。①案がコンパクトな校舎の計画となり、駐車場や運動場が広くできることや、児童、職員の動線が短く効率的であること。また、2クラスづつにまとめられたボリュームや2つの屋外テラスは学校運営上非常に有用性が高く、特に現場の先生方から高い評価を得ていることから、①を基本計画案とすることで了承を得ました。

まだ、課題はありますが、平成30年度に実施する基本・実施設計において引き続き地域とも調整をしながら改築事業を進めて行くこととします。



上記①案は、東側道路側に建物を集約したコンパクトな案。



上記②案は、既存の校舎と同じく、東側道路と中学校側に建物を配置した案。

7. スケジュール
 基本計画時点のスケジュールは次のとおりとなります。基本・実施設計でさらに詳細なスケジュールを検討してまいります。

年度	工程等
29年度	○基本計画
30年度	○基本計画 ○基本・実施設計
31年度	○仮設校舎 ○解体工事 ○建設工事着手
32~33年度	○建設工事完了 ○解体工事 ○校庭の整備

8. 今後の課題
 地域から特にご意見が多かった2点として、新耐震基準で建設された幼稚園や中学校と同時期の建替えは、補助の活用が見込めないことから今回は小学校の建替えになること、また、沖縄市として小中連携が効果をあげていることから、今後ともよりよい連携の推進について検討してまいります。と、回答させていただきます。

- 今後の基本設計では、次の事項について引き続き検討してまいります。
- ◎小・中連携について
 - ◎地域連携、コミュニティスクールについて
 - ◎歴史資料館の位置付けについて
 - ◎エコスクールの導入について
 - ◎オープンスペースとクラスルームについて
 - ◎新世代型学習空間について
 - ◎防犯、事故防止について
 - ◎災害時の避難場所、防災拠点としての位置付けについて
 - ◎少子高齢化への対応について
 - ◎景観・環境について
 - ◎バリアフリーに対応した学校
 - ◎学校トイレについて
 - ◎特別支援教室について
 - ◎放課後児童クラブについて

他にも、学校・関係各課・地域へのヒアリング等を通して基本設計時に検討を行うべき要望や課題について整理し、基本・実施設計に反映させていきます。